

令和8年度 第2回 上島小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年6月30日（火） 14時から15時30分
- 2 開催場所 上島小学校 会議室
- 3 出席委員 中川 宏、山本 暢子、大橋 薫、森園 大介、鈴木 裕之、
小粥 万祐子
- 4 欠席委員 青木 榮治、白澤 かおる、有賀 愛
- 5 オブザーバー なし
- 6 学 校 岩崎 光宏（校長）、宮本 直子（教頭）、高畠 美保（主幹教諭）
青池 浩司（CS 担当教諭）、瀬山 裕子（CS ディレクター）
- 7 教育委員会 磯部 志保（学校・地域連携課）
- 8 会議録作成者 CS ディレクター 瀬山 裕子
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、大橋委員から中川会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）運動会、学校公開等を終えての意見交換
- （2）家庭や地域ができること

11 会議記録

青池から、委員総数9人のうち、6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

協議の前に高畠より、現在の児童の実態として、京都の事件を受けた所在確認の徹底（連絡等がない場合の家庭訪問）、スマートフォン所持率上昇に伴う SNS 上での友人トラブル・いじめの案件の増加という実態が報告された。これを受けて、委員がグループに分かれて「良い現れ（青）」と「課題（赤）」を付箋で出し合う熟議を行った。

（1）運動会、学校公開等を終えての意見交換

【Aグループ】大橋委員、小粥委員、学校・地域連携課、教頭、主幹、青池

【Bグループ】中川会長、森園委員、鈴木委員、校長、瀬山

《運動会（5月）》

「良い現れ」

- 最後まで全力で取り組んでいた。応援席でマナー良く応援出来た。〈子ども〉
- いつもと環境が違ってルールを守る様子が見られた。〈子ども〉
- 協力的、たくさんボランティアをしてくださる。〈保護者〉
- 雨上がりのグラウンドだったが、コーンを置くなど臨機応変に対応していた。
〈職員〉
- 教職員のチームワークや楽しそうな姿が良かった。〈職員〉

「課題」

- 低学年の児童には、会場までの移動距離が長く、天候によってはかなり体力を消耗する。〈子ども〉
- 集団でする演目がもう少しあってもいいのではないか。（綱引きなど）〈子ども〉
- 保護者席がよく分からなかった。〈保護者〉
- ボランティア以外、入れない場所を守らない保護者がいた。周知不足。〈保護者〉
- 子供たちにやらせてあげたいことがあっても時間の縛りがあって難しい。〈職員〉
- 引き渡しアンケートの回答が得られない方に連絡がつかなくて困っていた。〈職員〉

《学校公開日（6月）》

「良い現れ」

- 保護者に来てもらうことがうれしそうな低学年の姿があった。〈子ども〉
- 学習に意欲的に取り組む姿が見れた。〈子ども〉
- 多くの方が熱心に参観されていた。私語も気にならなかった。〈保護者〉
- 子供たちの良いところを見つけ、伸ばすようにしている。〈職員〉
- 授業形態が色々あり、参観していて先生方の工夫が見られた。〈職員〉

「課題」

- 保護者が来てくれなくて寂しい思いをする子がいる。〈子ども〉
- 参観しながら他の保護者と喋っている。スマホを遠慮してもらってはいるが、なかなか難しい。〈保護者〉
- 普段の様子、いつも通りの授業といってもそういうわけにはいかない。〈職員〉

《その他》

「良い現れ」

- 朝、旗振りの時元気よく挨拶してくれる子がいる。〈子ども〉

「課題」

- ノートを使用する際、下敷きを使用していない子が多いように感じる。〈子ども〉
- SNS や GPS にまつわる課題。〈子ども〉
- 自分の子どもに指導できない保護者が増えた。〈保護者〉

（2）家庭や地域ができること

温度差をなくし、地域、学校、家庭でおなじスタンスでいることが重要である。情報モラル、ICT等の使い方を家庭でも学校でも学ぶ機会が必要である。

その他報告事項等

司会から、次回会議は令和8年10月21日（水）14時から会議室で開催する旨の報告があった。